

令和2年（2020年）6月22日

各指定地方公共機関の長 様

熊本県新型コロナウイルス感染症対策本部長

新型コロナウイルス感染症対策におけるイベント等の開催に係る留意事項について

令和2年（2020年）6月18日付け通知において、外出自粛やイベント開催制限の段階的緩和についてお知らせしたところですが、この度、イベント等の開催に係る留意事項を別添のとおりまとめましたので、貴機関所属の会員等へ周知いただきますようお願いいたします。

※ イベント等の開催に係る留意事項については、県のホームページにも掲載しております。

<お問合せ先>

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局
（熊本県健康福祉部健康危機管理課） 谷津
直通：096-333-2630（内線 5930, 5932）

（参考）

新型コロナウイルス感染症に関する県民の方からの
一般的なお問合せ先

専用相談窓口：096-300-5909

イベント等の開催に係る留意事項について

全国的又は広域的な人の移動が見込まれるものや、参加者の把握が困難なお祭り・花火大会・野外フェスティバル等の開催は、中止を含めて慎重に検討してください。

それ以外のイベントの開催に係る留意事項は次のとおりです。

屋内イベントの場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ

屋外イベントの場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ

プロスポーツ等の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ページ

地域の行事（盆踊り等、全国的又は広域的な人の移動が見込まれない行事で参加者がおおよそ把握できるもの）の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 ページ

【イベントの例】

分類	例
屋内イベント	コンサート、展示会、見本市、会議・講演会、レクリエーション 等
屋外イベント	コンサート、展示会、見本市、レクリエーション 等
プロスポーツ等	プロスポーツのリーグ戦、トーナメント戦 等
地域の行事	盆踊り 等
全国的又は広域的なもの	全国的又は広域的な人の移動が見込まれる花火大会、野外フェスティバル 等

屋内イベントの場合

1 時期と人数制限

6月19日から、屋内のコンサート、展示会、見本市、会議・講演会、レクリエーション等については、収容率50%以内かつ1,000人以下のものは可能です。

2 イベントのリスクについて

イベントの形態や場所によってリスクが異なることには十分に留意しましょう。

例えば、密閉された空間において大声での発声、歌唱や声援、または近接した距離での会話等が想定されるようなイベント等に関しては、開催にあたってより慎重に検討してください。

そのうえでイベント等を開催される場合は、国が取りまとめている業種別ガイドライン及び下記の留意事項を御確認いただき、感染防止対策を講じたうえで開催されるようお願いいたします。

3 開催前の留意事項

(1) 事前に、参加者に次のことを周知しましょう。

- ・ イベント等の参加者に感染者が発生した場合は、保健所の聞き取りに協力すること
- ・ 濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があること
- ・ 具合の悪い方の参加は認めないこと
- ・ マスクの着用などの感染防止対策を求めること
- ・ イベント等参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあること

(2) 連絡先を把握しましょう。

- ・ 万が一に備え、参加申込書等により参加者やスタッフ等の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

4 会場にかかる留意事項

(1) 「3密」を避けましょう。

- ・ 定期的に入口のドアや窓を開け、換気扇を回すなど、2方向で換気を行うこと
- ・ 人と人との間隔（1メートル、できれば2メートル）を十分に確保すること
- ・ 入場人数や滞在時間を制限すること

- ・ 入退出時や集合場所等において十分な間隔を確保すること

(2) 手洗い・消毒を徹底しましょう。

- ・ 会場の入口等に消毒設備を設置すること。また、参加者にこまめな手洗いを徹底するよう案内すること

5 開催当日の留意事項

(1) 適切な感染防止策を実施しましょう。

- ・ 参加者やスタッフ等の体調（発熱や風邪、味覚障害等の症状の有無）を確認し、具合の悪い方の参加を認めないこと
- ・ 参加者やスタッフ等には、こまめな手洗い、マスクの着用、咳エチケットを徹底するよう求めること
- ・ 大声での会話が行われないう、BGMや機械の効果音等を最小限に調整すること
- ・ 出演者の発声等を伴う催物にあっては客席との十分な距離を確保すること
- ・ 声援にかかる感染防止策を講じること
- ・ 共有して使用した物や設備の適正な消毒や清掃を行うこと
- ・ ごみ箱等を設置した場合、鼻水、唾液などがついたごみはビニール袋に入れて密閉し、回収時は手袋を着用すること
- ・ 食事を提供する場合は、大皿での取り分けは避けること
- ・ 当日申込みの場合は、参加者に所定の用紙等に連絡先を記入させるなど、参加者の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

(2) イベント外での交流等は極力控えましょう。

- ・ イベントの前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大のリスクを高める可能性があるため、こうした交流等は極力控えること

6 その他留意事項

(1) 国において開発中の接触確認アプリの導入を検討しましょう。

- ・ 国において開発中のスマートフォンを活用した接触確認アプリは、接触率の低減や感染の拡大防止に寄与するため、導入を検討すること

屋外イベントの場合

1 時期と人数制限

6月19日から、屋外のコンサート、展示会、見本市、レクリエーション等については、十分な間隔（できれば2m）を取り、かつ1,000人以下のものは可能です。

2 イベントのリスクについて

イベントの形態や場所によってリスクが異なることには十分に留意しましょう。

例えば、密閉された空間において大声での発声、歌唱や声援、または近接した距離での会話等が想定されるようなイベント等に関しては、開催にあたってより慎重に検討してください。

そのうえでイベント等を開催される場合は、国が取りまとめている業種別ガイドライン及び下記の留意事項を御確認いただき、感染防止対策を講じたうえで開催されるようお願いいたします。

3 開催前の留意事項

(1) 事前に、参加者に次のことを周知しましょう。

- ・ イベント等の参加者に感染者が発生した場合は、保健所の聞き取りに協力すること
- ・ 濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があること
- ・ 具合の悪い方の参加は認めないこと
- ・ マスクの着用などの感染防止対策を求めること
- ・ イベント等参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあること

(2) 連絡先を把握しましょう。

- ・ 万が一に備え、参加申込書等により参加者やスタッフ等の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

4 会場にかかる留意事項

(1) 「3密」を避けましょう。

- ・ 人と人との間隔（1メートル、できれば2メートル）を十分に確保すること
- ・ 入場人数や滞在時間を制限すること
- ・ 入退出時や集合場所等において十分な間隔を確保すること

(2) 手洗い・消毒を徹底しましょう。

- ・ 会場の入口等に消毒設備を設置すること。また、参加者にこまめな手洗いを徹底するよう案内すること

5 開催当日の留意事項

(1) 適切な感染防止策を実施しましょう。

- ・ 参加者やスタッフ等の体調（発熱や風邪、味覚障害等の症状の有無）を確認し、具合の悪い方の参加を認めないこと
- ・ 参加者やスタッフ等には、こまめな手洗い、マスクの着用、咳エチケットを徹底するよう求めること
- ・ 大声での会話が行われないう、BGMや機械の効果音等を最小限に調整すること
- ・ 出演者の発声等を伴う催物にあっては客席との十分な距離を確保すること
- ・ 声援にかかる感染防止策を講じること
- ・ 共有して使用した物や設備の適正な消毒や清掃を行うこと
- ・ ごみ箱等を設置した場合、鼻水、唾液などがついたごみはビニール袋に入れて密閉し、回収時は手袋を着用すること
- ・ 食事を提供する場合は、大皿での取り分けは避けること
- ・ 当日申込みの場合は、参加者に所定の用紙等に連絡先を記入させるなど、参加者の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

(2) イベント外での交流等は極力控えましょう。

- ・ イベントの前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大のリスクを高める可能性があるため、こうした交流等は極力控えること

6 その他留意事項

(1) 国において開発中の接触確認アプリの導入を検討しましょう。

- ・ 国において開発中のスマートフォンを活用した接触確認アプリは、接触率の低減や感染の拡大防止に寄与するため、導入を検討すること

プロスポーツ等の場合

1 時期と人数制限等

6月19日から、無観客試合は可能ですが、下記を前提とします。

- ・ 選手・出演者等に対して適切な感染予防策（選手等に発熱や感冒症状がある場合の出場自粛、控え場所等における3密回避等）を講じること
- ・ 選手・出演者等の移動中や移動先における感染防止のための適切な行動管理（夜の街への外出等の感染リスクのある行動の回避等）を確保すること

2 イベントのリスクについて

イベントの形態や場所によってリスクが異なることには十分に留意しましょう。

例えば、密閉された空間において大声での発声、歌唱や声援、または近接した距離での会話等が想定されるようなイベント等に関しては、開催にあたってより慎重に検討してください。

そのうえでイベント等を開催される場合は、国が取りまとめている業種別ガイドライン及び下記の留意事項を御確認いただき、感染防止対策を講じたうえで開催されるようお願いいたします。

3 開催前の留意事項

(1) 事前に、選手・出演者等に次のことを周知しましょう。

- ・ 選手・出演者等に感染者が発生した場合は、保健所の聞き取りに協力すること
- ・ 濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があること
- ・ 具合の悪い方の参加は認めないこと
- ・ マスクの着用などの感染防止対策を求めること
- ・ 選手・出演者等は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあること

(2) 連絡先を把握しましょう。

- ・ 万が一に備え、選手・出演者等の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

4 会場にかかる留意事項

(1) 「3密」を避けましょう。

- ・ 定期的に入口のドアや窓を開け、換気扇を回すなど、2方向で換気を行うこと（屋内の場合）

- ・ 人と人との間隔（1メートル、できれば2メートル）を十分に確保すること
- ・ 入退出時や集合場所等において十分な間隔を確保すること

(2) 手洗い・消毒を徹底しましょう。

- ・ 会場の入口等に消毒設備を設置すること。また、選手・出演者等にこまめな手洗いを徹底するよう案内すること

5 開催当日の留意事項

(1) 適切な感染防止策を実施しましょう。

- ・ 選手・出演者等の体調（発熱や風邪、味覚障害等の症状の有無）を確認し、具合の悪い方の参加を認めないこと
- ・ 選手・出演者等には、こまめな手洗い、マスクの着用、咳エチケットを徹底するよう求めること
- ・ 大声での会話が行われないう、BGMや機械の効果音等を最小限に調整すること
- ・ 選手・出演者等の発声等を伴う催物にあつては客席との十分な距離を確保すること
- ・ 声援にかかる感染防止策を講じること
- ・ 共有して使用した物や設備の適正な消毒や清掃を行うこと
- ・ ごみ箱等を設置した場合、鼻水、唾液などがついたごみはビニール袋に入れて密閉し、回収時は手袋を着用すること
- ・ 食事を提供する場合は、大皿での取り分けは避けること

(2) イベント外での交流等は極力控えましょう。

- ・ イベントの前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大のリスクを高める可能性があるため、こうした交流等は極力控えること

6 その他留意事項

(1) 国において開発中の接触確認アプリの導入を検討しましょう。

- ・ 国において開発中のスマートフォンを活用した接触確認アプリは、接触率の低減や感染の拡大防止に寄与するため、導入を検討すること

地域の行事（盆踊り等、全国的又は広域的な人の移動が見込まれない行事で参加者がおおよそ把握できるもの）の場合

1 時期と人数制限等

6月19日から開催可能ですが、適切な感染防止策（発熱や感冒症状がある者の参加自粛、3密回避、行事の前後における3密の生ずる交流の自粛、手指の消毒、マスク着用等）を講じてください。

なお、参加者がおおよそ把握できる人数としてください。

2 イベントのリスクについて

イベントの形態や場所によってリスクが異なることには十分に留意しましょう。

例えば、密閉された空間において大声での発声、歌唱や声援、または近接した距離での会話等が想定されるようなイベント等に関しては、開催にあたってより慎重に検討してください。

そのうえでイベント等を開催される場合は、国が取りまとめている業種別ガイドライン及び下記の留意事項を御確認いただき、感染防止対策を講じたうえで開催されるようお願いいたします。

3 開催前の留意事項

(1) 事前に、参加者に次のことを周知しましょう。

- ・ イベント等の参加者に感染者が発生した場合は、保健所の聞き取りに協力すること
- ・ 濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があること
- ・ 具合の悪い方の参加は認めないこと
- ・ マスクの着用などの感染防止対策を求めること
- ・ イベント等参加者は、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあること

(2) 連絡先を把握しましょう。

- ・ 万が一に備え、スタッフ等の連絡先を把握すること。ただし、個人情報の取扱いに十分注意すること

4 会場にかかる留意事項

(1) 「3密」を避けましょう。

- ・ 人と人との間隔（1メートル、できれば2メートル）を十分に確保すること

- ・ 入退出時や集合場所等において十分な間隔を確保すること

(2) 手洗い・消毒を徹底しましょう。

- ・ 会場の入口等に消毒設備を設置すること。また、参加者にこまめな手洗いを徹底するよう案内すること

5 開催当日の留意事項

(1) 適切な感染防止策を実施しましょう。

- ・ 参加者やスタッフ等の体調（発熱や風邪、味覚障害等の症状の有無）を確認し、具合の悪い方の参加を認めないこと
- ・ 参加者やスタッフ等には、こまめな手洗い、マスクの着用、咳エチケットを徹底するよう求めること
- ・ 大声での会話が行われないう、BGMや機械の効果音等を最小限に調整すること
- ・ 出演者の発声等を伴う催物にあっては客席との十分な距離を確保すること
- ・ 声援にかかる感染防止策を講じること
- ・ 共有して使用した物や設備の適正な消毒や清掃を行うこと
- ・ ごみ箱等を設置した場合、鼻水、唾液などがついたごみはビニール袋に入れて密閉し、回収時は手袋を着用すること
- ・ 食事を提供する場合は、大皿での取り分けは避けること

(2) イベント外での交流等は極力控えましょう。

- ・ イベントの前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大のリスクを高める可能性があるため、こうした交流等は極力控えること

6 その他留意事項

(1) 国において開発中の接触確認アプリの導入を検討しましょう。

- ・ 国において開発中のスマートフォンを活用した接触確認アプリは、接触率の低減や感染の拡大防止に寄与するため、導入を検討すること